

18th Interim Business Report

第18期第2四半期（中間期）株主通信

2024年1月1日～2024年6月30日

CREATIVE & GLOBAL & SOLUTION

世界を築く、創造のソリューション。

株式会社C&Gシステムズ

証券コード：6633

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、いつも変わらぬご支援を賜り誠にありがとうございます。2024年上期の営業概況について、ご報告申し上げます。

— 2024年上期の連結業績は？

EVシフトの方向性の不透明感により
減収減益で推移

2024年上期の当社グループの連結業績は、売上高18億30百万円（前年同期比11.4%減）、営業利益は54百万円（前年同期比69.1%減）の減収減益となりました。自動車関連業界においてEVシフトの方向性について依然として不透明な状況が続いており、CAD/CAMシステム等事業、金型製造事業ともに影響を受けました。

(1) CAD/CAMシステム等事業

CAD/CAMシステム等事業の売上高は17億9百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は97百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

国内においては各種パブリックショーへの出展等を通じ主力製品群の導入効果を最新技術および事例を交えて提案するなど、販売シェアの拡大に努めたものの、自動車向け金型・部品製造業の設備投資抑制が影響し製品販売が低調に推移しました。海外ではインドネシアで売上が伸長したほか、中国、北米も回復傾向にありましたが、タイでは上期を通して日系自動車関連の需要が回復せず製品販売が伸び悩みました。保守売上は、引き続き高い保守更新率を維持し、国内海外ともに堅調に推移したものの、製品販売の落ち込みをカバーするに至りませんでした。

(2) 金型製造事業

金型製造事業の売上高は1億21百万円（前年同期比56.0%減）、セグメント損失は42百万円（前年同期は23百万円の利益）の減収減益となりました。北米の日系自動車メーカーの新車種開発計画が進み始め、足元の受注環境

は改善傾向にあるものの、2023年下期の受注状況が低調に推移したことが影響し前年同期との比較では大幅な減収減益となりました。

— 2024年下期の動向は？

通期連結業績予想は据え置き
自動車関連市場の回復を背景に回復を見込む

2024年下期においては、EVシフトの動向、原材料高騰等の間接的な影響も依然として懸念されますが、自動車関連市場、半導体市場の回復を背景に緩やかな回復基調で推移するものと思われます。CAD/CAMシステム等事業においては主力製品であるCAD/CAMシステムのほか、製造業のDX化による生産性向上を背景に注目を浴びている金型・部品製造業向け生産・工程管理システムの販売強化に注力いたします。また金型製造事業については、新機種開発の再開に伴う金型の需要回復に伴い、業績は第4四半期から2025年度上期にかけて持ち直していくものと見込んでおります。

2024年上期の業績は予想を大きく下回って推移しましたが、通期連結業績予想は現時点では据え置きとさせていただき、下期で業績回復すべく、拡販に向け活動を強化してまいります。

今後も世界のモノづくり分野において、「グローバル・ニッチ・トップ」を目指し、顧客満足度向上、ひいては企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き当社へのご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

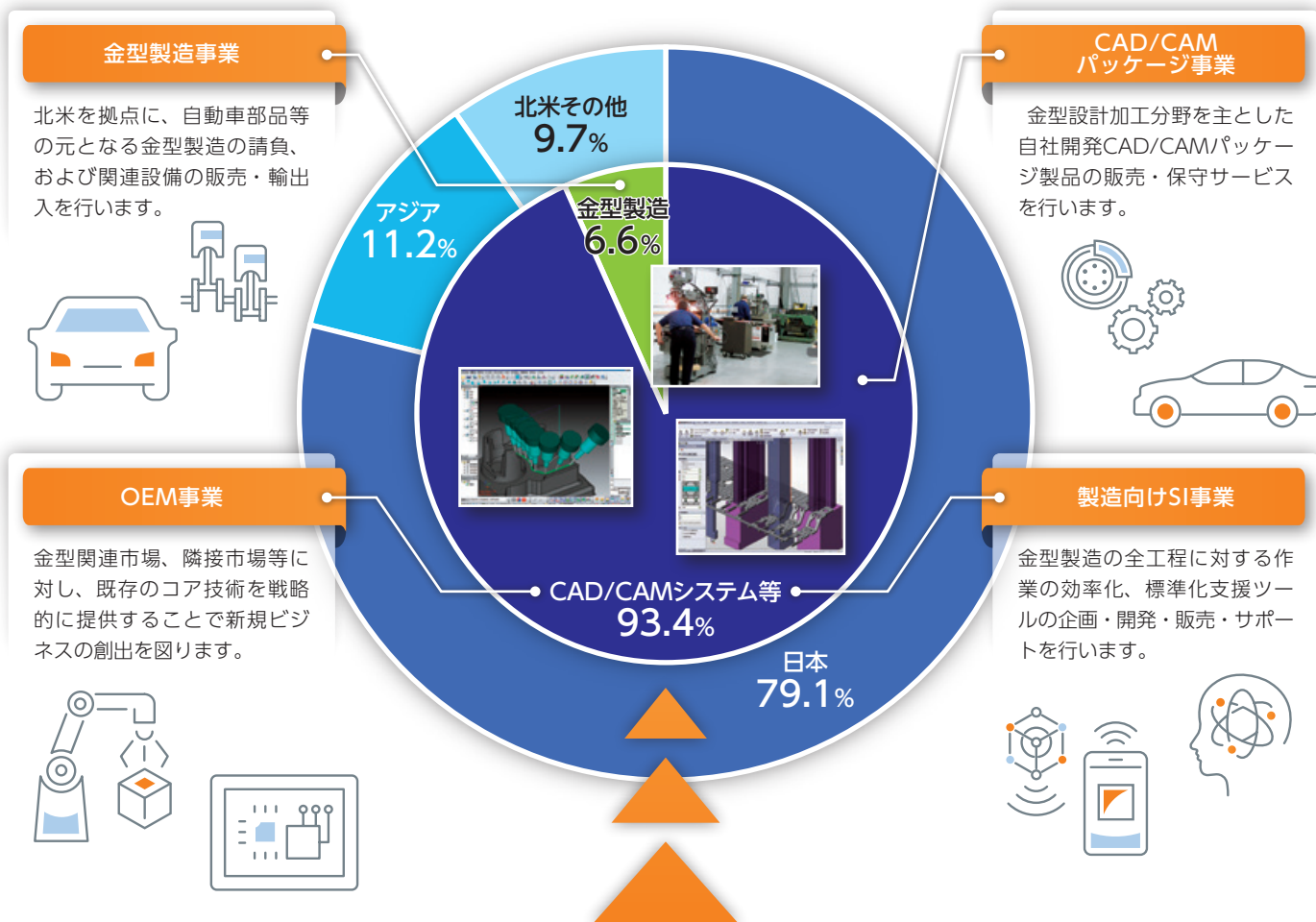
2024年8月吉日

代表取締役社長 塩田 聖一

Overview by Business Segment

仕向地別セグメントの概況

2024年12月期第2四半期（中間期） 連結売上高比率



CAD/CAMシステム等事業 主力製品



Topics

事業トピックス

主力2製品にAIを活用した機能を搭載！

2024年2月にリリースした「EXCESS-HYBRID II」の最新版「V9.1」では、パソコンなどのストレージ内に存在する膨大な既存データから、類似形状の製品モデルを検索する「類似ボディ検索機能」を搭載。ディープラーニング（深層学習）の手法を用いて AI（人工知能）にデータを学習させ、指定した製品モデルや検索条件から類似した製品データを抽出することでユーザーは流用性が高い類似した形状の製品を素早く特定できるようになりました。また生産・工程管理システム「AIQ」と併用することで、過去に製造した類似形状部品の受注情報や実績情報などをデータベースから容易に入手できるため、製造プロセス全体のさらなる効率化を可能にします。



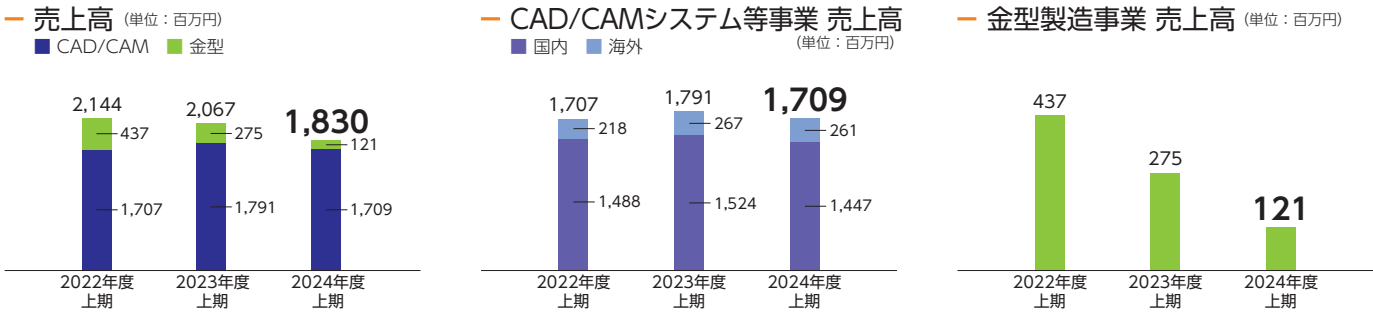
類似ボディ検索による検索結果のイメージ

また2024年4月にリリースした「ICAM-TOOL」の最新版「V20.1」では、産学連携の共同研究において開発した「AI切削条件決定支援システム」を利用して切削条件の決定を支援する機能を搭載。工作機械で加工実績がない被削材や工具などを使用する際、熟練技能者の知識や経験などの暗黙知・ノウハウに依存するケースが多く、技能継承や人材不足の問題に直面する多くの製造業での経営課題となっていますが、今回搭載した機能ではAI技術の「データマイニング手法」を使い、機械学習後の切削条件を自動算出するだけでなく、実際の加工時の条件も反映されていくため、本機能の利用により非熟練者でも容易に切削条件を決定することが可能となります。



AI切削条件算出機能は、岡山大学、株式会社MOLDINO、ゼノー・テック株式会社との共同研究により開発されました。

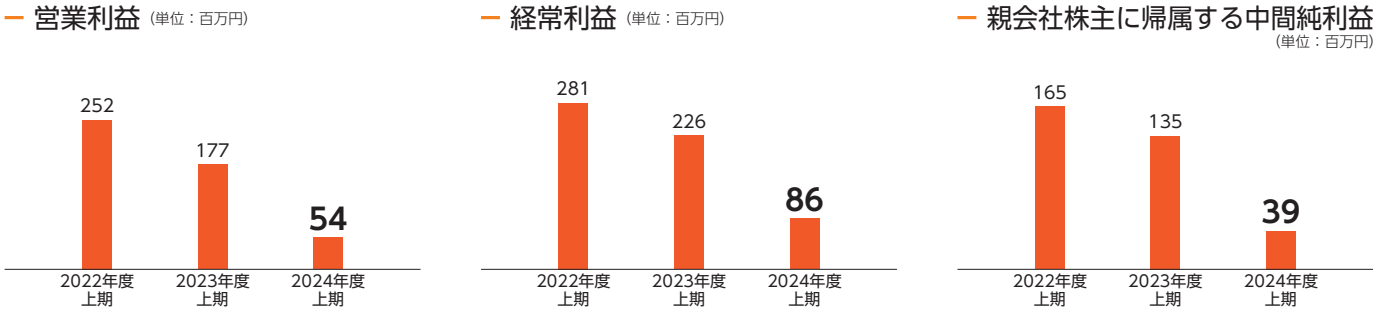
2024年度上期連結決算ハイライト



売上面

CAD/CAMシステム等事業の売上高は、前年同期比△4.6%の減収となりました。EVシフトの方向性が依然として不透明であったことから、主な利用先である自動車向け金型・部品製造業での金型および部品生産が引き続き低調に推移し、設備投資を抑制した結果、国内外ともに製品販売が低調に推移しました。

金型製造事業においては2023年下期の新機種開発が乏しく受注が低調に推移したことにより前年同期比△56.0%の大幅減収となりました。



利益面

CAD/CAMシステム等事業、金型製造事業共に、減収の影響により大幅減益となりました。特に金型製造事業の売上低迷による利益減の影響は大きく、金型製造の事業セグメントで42百万円の損失となり、連結での利益面に影響を及ぼしました。

通期の見通し (連結) (単位: 百万円)

	2023年度 通期	2024年度 通期予想	増減額	増減率
売上高	3,826	4,070	+244	+6.4%
営業利益	90	300	+209	+231.3%
経常利益	150	341	+190	+126.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	68	193	+124	+182.6%

通期連結業績予想については2024年2月14日に公表した予想を据え置いております。

自動車関連業界の足元の市場環境は回復基調にあり、CAD/CAMシステム等事業においては主力CAD/CAMシステムおよび生産・工程管理システムの需要増を見込んでおります。上期業績をカバーすべく、拡販およびサービス提供に注力し、下期での業績回復を目指します。

会社概要 (2024年6月30日現在)

社名	株式会社C&Gシステムズ (C&G SYSTEMS INC.)
設立	2007年7月2日
資本金	5億円
従業員数	253名 (連結)
本社所在地	(東京) 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー19F (北九州) 〒806-0067 福岡県北九州市八幡西区引野一丁目5番15号
電話番号	03-6864-0777 (代表)
事業内容	金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート
主な拠点	(国内) 東京支店、大宮支店、名古屋支店、大阪支店、九州支店 (テクニカルセンター) インドネシアテクニカルセンター ベトナムテクニカルセンター (海外事業子会社) CGS ASIA CO., LTD. (タイ) CGS NORTH AMERICA INC. (CANADA) (カナダ) Tritech International, LLC (アメリカ) (海外代理店) IGPNET社 (韓国) Shanghai C.J System Technology社 (中国) Createwell社 (台湾)

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告 (https://www.cgsys.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場